

ジェンダーギャップ解消!!HAPPY☆CYCLE事業【三重県】

個別事業費	13,352 千円
交付金額	6,581 千円

地域の実情と課題

三重県は、賃金水準の男女差、フルタイムの仕事に従事する割合の男女非が全国最大級に大きい状況である。
このようなジェンダーギャップの解消に向けて、女性活躍の取組を進めていく必要がある。

事業の特徴

女性活躍やジェンダーギャップ解消に向け、固定的性別役割分担意識や男性中心型労働慣行を変革し、家庭でも仕事でも活躍できる環境となるよう、様々な取組を実施した。

- ・企業トップ・リーダー層の意識啓発に向けたワークショップ
- ・企業団体トップ等の熱い思いを見える化する「本気宣言」
- ・働く女性のキャリアアップやキャリア継続支援に向けた女性ロールモデルとの交流会
- ・基調講演や先進取組の成果・パネルトークを行う成果発表会「ジェンダーギャップ解消フォーラム」

等

事業の効果

- ・企業団体トップ等の意識啓発や他社とのネットワーク構築が進み、女性活躍推進に向けた企業の取組を進める機運を醸成することができた。
- ・企業トップ等によるリーダーシップの下、企業等が意識・慣行等の実態に即した行動計画の新規策定や更新が行われ、ジェンダーギャップ解消にむけた取組が進んだ。
- ・結婚や出産などライフステージ毎の課題の克服をはじめとして、働く女性のキャリアデザインを支援することができた。

目的・目標

女性活躍の推進のため人材育成・登用や職場環境整備に取り組む
常時雇用労働者数100人以下の団体数
目標:451団体 実績:464団体

連携団体

<三重県会議 連絡会議(女性活躍推進法に規定する協議会)>
三重労働局、三重大学、県内経済団体、男女共同参画関係機関等で構成する連絡会議において、事業実施にあたっての意見聴取、各下部組織への周知協力の促進、結果検証等を行った。

<三重県会議 企画委員会>
県内企業等の実情を反映するため、民間企業等の参画する三重県会議 企画委員会による事業実施の具体に関する企画運営や結果検証を行った。

今後の課題

三重県会議会員数、女性活躍推進法一般事業主行動計画の増加など、働く場における女性活躍の推進にかかる気運や取組は進んできた。
一方で、県民向けの意識調査の結果により、働く場において性別役割分担を感じる県民の割合は6割を超えており、依然として固定的な性別役割分担は根強いことが明らかとなった。
企業・団体のトップ層の意識啓発と取組を推進し、慣行や制度として根強く残る固定的な性別役割分担を解消することで、働く場における女性活躍、ジェンダーギャップ解消を促進する必要がある。

事業の概要

企業トップの熱い思いの本気宣言

性別による役割分担にとらわれず、誰もが家庭でも仕事でも活躍できる「令和モデル」の社会・職場環境づくりに向けて「本気で取り組む」という企業トップの熱い思いをポスター風の「宣言書」にして見える化した。



企業等トップ層向けワークショップ

「女性だから」「男性だから」といった性別による役割分担意識にとらわれず、誰もが家庭でも仕事でも活躍できる職場環境づくりのため、企業等のトップ層を対象にワークショップを開催した。

女性活躍推進 アドバイザー派遣

女性活躍推進アドバイザーの派遣により「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」に基づく一般事業主行動計画を策定・届出する企業を支援した。

ジェンダーギャップに関する 県民意識調査

三重県におけるジェンダーギャップの解消に向けた課題を把握するため県民の意識や生活状況を調査した。

MEET！ロールモデル

働く女性のキャリアの継続やキャリアパスの参考にしてもらうため、県内で活躍する女性リーダーと若手・中堅女性の交流会を行った。

ジェンダーギャップ解消フォーラム

「男性は仕事、女性は家庭」の「昭和モデル」から誰もが家庭でも仕事でも活躍できる「令和モデル」の社会職場環境づくりに向け、「ジェンダーギャップ解消フォーラム」を開催した。

フォーラムでは、先進取組企業による事例紹介や、有識者による講義、県内大学に通う学生を交えたパネルトークを行った。

